



思い出いっぱいの校舎



地域の人が見守る中での運動会



対州馬の乗馬体験



声援をうけ頑張ったマラソン大会

たくさんの思い出をありがとう ～小網小学校 閉校～

今年3月に147年の歴史に幕を閉じる小網小学校。今年度は、13人の児童がこの学び舎で過ごしています。コロナ禍で、これまでどおりの学校生活を送ることは難しい状況でしたが、先生や地域の人たちの支えを受けて、いろいろなことにチャレンジしました。「元気・なかも・ゆめ」を信条に過ごしてきた小網っ子のこれまでのを振り返ります。



みんなで協力して学校を綺麗に



みんな揃って給食準備

沿革

- 明治 6年11月 1日 小網校創立
16年 仁位小学校下等分校と称し、
中等科初等科設置
- 大正 4年 高等科設置
- 昭和 6年 校舎新築
- 16年 4月 1日 小網国民学校と改称
- 22年 4月 1日 新学制の実施により、奴加岳村
立小網小学校と改称し、同奴加
岳村立小網中学校設置
- 30年 3月30日 仁位、奴加岳両村の合併により
豊玉村となり、豊玉村立小網小
学校と改称
- 50年 4月 1日 町制施行により豊玉町立小網小
中学校となる
- 51年 3月31日 豊玉町学校統合により中学校廃
校となる
- 55年 3月31日 鉄筋3階校舎並びに運動場拡張工
事完成
- 63年 3月 1日 体育館落成
- 平成 2年 6月27日 校旗制定
- 5年10月 3日 創立120周年記念行事
- 16年 3月 1日 市制施行により対馬市立小網
小学校と改称



147年の歴史を持つ学校、地域との関わりで成長する小綱っ子

明治6年11月に小綱校として設立され産声を上げた小綱小学校。旧学制では高等科の設置や農業補習学校を併設するなど、多くの若者がこの地で勉学に励みました。昭和22年からは新学制で小綱小学校となり、これまで1,447人の卒業生が巣立っていきました。

小綱小学校では、子どもたちや教職員だけでなく、地域の人たちの関わりもたくさんありました。運動会をはじめ、学習発表会の「つなっ子まつり」には、多くの地域の人たちが集まり、子どもたちの元気な姿に歓声を送りました。また、熊本県山江村の小学生との交流事業では、目玉である綱島でのキャンプをサポートするため、地域の人たちが船を出したり、食事の手伝いをしたりと、地域とのつながりが強い小綱小学校だからこそできた取り組みがあり、子どもたちの成長に深く関わってきました。



小中併設時代の運動会



児童の熱演に大盛り上がりの「つなっ子まつり」



つなっ子ソーランの衣装は、地域の人たちの手作り

卒業生に聞く 作元 功太さん（平成3年度卒業）

私が小綱小に通っていたころは、全校児童が50人くらいだったと思います。1年から6年まで、きょうだいのように仲が良く、みんなで遊んでいました。そのころは、ソフトボールが盛んで「綱島クラブ」に参加して、島内で何度も優勝、県大会にも出場しました。

ソフトボールを指導してくれていたのは、父たち地域の大人で、その姿をカッコよく感じていたのを覚えています。私も大人になって、子どもたちに指導する機会がありましたが、そのころに感じた憧れがあったと思います。自分の親だけでなく、地域の人たちみんなに育ててもらった6年間でした！



卒業写真(約30年前)と現在の作元さん(国昌寺住職:巖原町)



平成元年度に県大会準優勝を果たした綱島クラブ

最後の年、今できることで地域の思い出を残した1年

小綱小学校最後の1年は、コロナ禍での学校生活となり、これまで学校や地域が大切にしてきた行事の見直しや規模の縮小を迫られました。そんな中でも今できる取り組みをしたいと、みんなが協力して、最後の運動会やグラウンドゴルフなどを行いました。



みんなで力を合わせた綱引き



地域の人喜んでくれた
つなっ子ソーラン



おじいちゃんおばあちゃんとの
グラウンドゴルフ

また、小綱小学校では、10年ほど前から対馬の伝統食材「せん」作りに取り組んできました。原料となるサツマイモを育て、せんでろくべえを作ってみんなで食べるまで、地元の名人に教わることで、地域の人との交流を深めながら、実際に体験して学んできました。昨年3月に行う予定だったろくべえ作りは、臨時休校の影響で中止になりましたが、閉校になる前に、自分たちが作ったせんをみんなで食べてほしいと、昨年12月にろくべえ作りを行いました。



学校に行くとみんな懐いてくれて、自分の孫みたいに思えました。卒業しても私を見ると、あいさつはもちろん、手伝いまでしてくれる子もいたりして…。自分たちが作ることで、対馬の郷土料理に愛着を持って、島を好きになってくれたことが嬉しかったですね。



子どもたちにせん作りを
教えてきた齊藤 幸枝さん

ありがとう小綱小学校

6年
あおい
作元 葵さん



閉校が分かって悲しかったけれど、みんなで頑張っていて楽しい1年間にしたいと思ってやってきました。運動会では、ソーラン節を踊って、地域の人からアンコールをもらったのがとても嬉しかったです。みんな仲良く、やさしい気持ちにさせてくれる小綱小学校が大好きです。

6年
りんご
佐伯 林檎さん



6年間、全てのことが思い出に残っています。特に、みんなが楽しみにしている行事の際、地域の人たちが協力してくれて、とても楽しい思い出として残っています。地域の人には感謝の気持ちでいっぱいです。閉校はとっても寂しいけれど、小綱小学校は、みんなの心に残るので、ずっと大切にしたいです。

せいや君とかるたををしたこと

図書館の本を1年で300冊読んだこと

寒い日に池に2cmの氷がはったこと

地域の人達とグラウンドゴルフをしたこと

運動会でソーラン節を踊ったこと

地域の人と3くべえを作って食べたこと

1年 河比呂光太郎くん

2年 松下誠弥くん

3年 松下雅和くん

3年 青柳陽翔くん

4年 根津征生くん

4年 作元斗真くん

小綱小学校の思い出

校庭の砂利を目立として綺麗にしたこと

毎年3くべえ作りを教えてもらったこと

5年 島本蓮司くん

4年生の時に「綱つ子笑点」で地域の人たちが笑ってくれたこと

縦割り班の班長として、みんなと野菜作りをしたこと

つなつ子ソーランを踊って地域の人に喜んでもらったこと

地域の人達とあいさつで触れ合ったこと

昼休みに、みんなで野球をして遊んだこと

6年 佐伯林檎さん

5年 平山友香さん

5年 青柳悠翔くん

5年 佐伯総司くん

5年 松下義明くん

6年 作元葵さん

3月、小綱小学校は147年の歴史に幕を閉じます。その長い歴史の中で、地域が子どもたちの教育に向けてきた温かいまなざしは変わることはありませんでした。閉校を迎えても、地域の教育に対する情熱とこの学校で重ねてきた歴史は、いつまでも消えることはありません。